

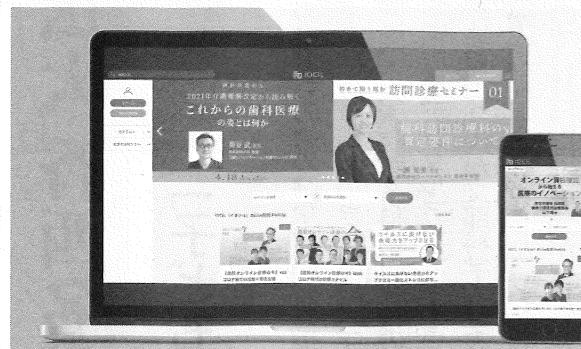
メディア

セミナー・動画共有サイトを開設

メディア(本社・東京都文京区)、辻啓延社長が、歯科・医療従事者間のセミナー・動画共有サイト「IOC iL(イオシル)」を開設した。同社の代表的な製品は歯科向けの電子カルテシステムだが、同サイトの開設に至った背景や今後の方針について辻社長に聞いた。

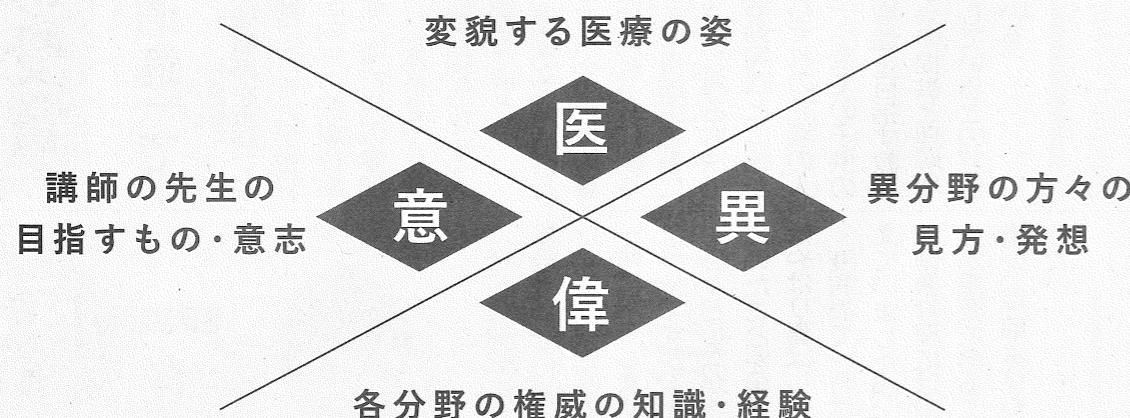


メディア
辻 啓延 社長



IOC iL(イオシル)のコンセプト

IOC iLは、4つの「い」をお伝えすることをコンセプトにしています。



歯科を中心に、医療の「知」を結集した「医療Webマガジン」

「多職種連携を後方から支えたい」

当社の電子カルテシステムは元々、1985年に発行した3冊の歯科書籍をベースに研究を進め、開発に至りました。これまでの歯科向け製品の提供で培つたノウハウと得意とするコンテンツ制作を融合させた動画コンテンツで、歯科分野から医療分野へと情報を発信・共有していくことで、歯科界を盛り上げていきます。

—セミナー・動画共有サイトの開設に至った経緯について教えてください。

辻 当社ではコロナ禍になる前から、主に製品に関するセミナーを年40～50回開催していました。ただ、昨年1月の新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、これまで通りの開催が難しくなり、新型コロナ関連の情報が少しずつ出始めていることもあつたので、趣向を変えて「新型コロナ対策」に焦点を当てたWebセミナーを昨年のちょうど今頃に開催しました。

国立国際医療研究センターの忽那賛志先生(医師)や歯科医師の先生を講師に招き、感染対策やコロナ禍における医療経営をテーマに講演していただきました。タイムリーな内容であつたことも、例えは多職種連携をテーマにしたセミナーなど、歯科や当社製品という枠にこだわらず、医療従事者にとって真に有益と思われる情報提供を行う目的

で、何度もWebセミナーを開催したところ、さらに多くの方にご参加いただきました。その後も、例えは多職種連携をテーマにしたセミナーなど、歯科や当社製品という枠にこだわらず、医療従事者にとって真に有益と思われる情報提供を行なう目的

にご参加いただいた次第です。

これまでには単発的にWebセミナーを開催していましたが、予想以上の反響をいたしました。これまでにさまざまな情報発信する場として、イオシルの開設に至りました。

ちなみに、当社製品に関する詳細情報やユーザーの声に関しては、「YouTube公式チャンネル」を開設し、イオシルとは別で運営しています。

—イオシルは、歯科以外の医療従事者も対象とのことです

辻 先ほどのセミナー参加者の属性を調べてみたところ、歯科医療従事者だけでなく、医科医療従事者だけでなく、医科医療従事者だけではなく、医科医療従事者の方も参加していました。

当社の主力事業は歯科医院向け電子カルテシステムの開発。販売ですが、感染対策ソリューションや医療連携システムの提携など、歯科だけに留まらず医療分野向けの製品開発・販売も行っています。

—具体的にはどのようなセミナー動画を用意していますか。

辻 イオシルは四つの「い」([医]「意」「偉」「異」)を図を利用して、「医」「意」「偉」「異」のセミナー動画を用意しています。経営、訪問診療、多職種連携、医療連携、感染対策などを含む、さまざまな有料・無料の動画をYouTubeまたはアーカイブで配信します。

ほかには、院長やスタッフが希望の講師から直接アドバイスを受ける「個別カウンセリング」も用意しています。また個人やグループが講師としてオリジナルのセミナー・動画を配信できるので、動画配信プラットフォームとしての利用も可能です。その際は、申込受講料の一定割合を手数料としてお支払いいただく形になります。

—目指す方向性は。

辻 医療の「知」を結集した「医療Webマガジン」です。ですので、当社の電子カルテシステム等に関連するだけではなく、コンセプトに適うさまざまなテーマのセミナー・動画を配信し、歯科をはじめとした医療従事者に有益な情報をお届けしたいです。

経緯と展望聞く

メディア(本社・東京都文京区)、辻啓延社長が、歯科・医療従事者間のセミナー・動画共有サイト「IOC iL(イオシル)」を開設した。同社の代表的な製品は歯科向けの電子カルテシステムだが、同サイトの開設に至った背景や今後の方針について辻社長に聞いた。

な情報を歯科医療従事者間に留めておいては不十分なのです。また逆に、医療分野の情報ももっと歯科に知ってほしい。医科医療連携や地域医療を実現していくには、分野の異なる医療従事者間で、有益な情報の共有が欠かせません。これを後方から支援する場として、イオシルを使ってもらいたい、そうした思いもあり、歯科だけでなく他の医療従事者も参加できるサイドにしました。

—具体的にはどのようなセミナー動画を用意していますか。

辻 イオシルは四つの「い」([医]「意」「偉」「異」)を図を利用して、「医」「意」「偉」「異」のセミナー動画を用意しています。経営、訪問診療、多職種連携、医療連携、感染対策などを含む、さまざまな有料・無料の動画をYouTubeまたはアーカイブで配信します。

ほかには、院長やスタッフが希望の講師から直接アドバイスを受ける「個別カウンセリング」も用意しています。また個人やグループが講師としてオリジナルのセミナー・動画を配信できるので、動画配信プラットフォームとしての利用も可能です。その際は、申込受講料の一定割合を手数料としてお支払いいただく形になります。

—目指す方向性は。

辻 医療の「知」を結集した「医療Webマガジン」です。ですので、当社の電子カルテシステム等に関連するだけではなく、コンセプトに適うさまざまなテーマのセミナー・動画を配信し、歯科をはじめとした医療従事者に有益な情報をお届けしたいです。

当社の電子カルテシステムは元々、1985年に発行した3冊の歯科書籍をベースに研究を進め、開発に至りました。これまでの歯科向け製品の提供で培つたノウハウと得意とするコンテンツ制作を融合させた動画コンテンツで、歯科分野から医療分野へと情報を発信・共有していくことで、歯科界を盛り上げていきます。



イオシル

歯科、医科、介護をつなぐ
イオシルおすすめセミナー

セミナー・動画の詳細
無料会員登録はこちらから

iocil.jp

PICK UP
アーカイブ

歯科が変わる
2021年介護報酬改定から読み解く
**これから歯科医療
の姿とは何か**



菊谷 武 先生

日本歯科大学 教授

口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

キーワードは、栄養・口腔

2021年 介護報酬改定から読み解く
これから歯科医療の姿とは何か

日本歯科大学 教授

口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

菊谷 武 先生 (歯科医師)

3年に1度の介護報酬の改定の年が来た。歯科医療者は医療保険改定に興味があっても介護報酬改定にはほぼ興味を持たないのが通例であろう。それは、介護報酬改定は歯科医療を行う上で直接関係のないものと思われているためであろう。一方、私見ではあるが、介護報酬は医療保険より柔軟に日本社会の問題点に対応し、それを解決するべく先進的かつ理念を持った改定を行っているように見える。だからこそ、そこに込められているメッセージを読み解くことによって、歯科が求められるあり方が見えてくるのではないかと感じている。今年も介護報酬の改定のキーワードは、栄養であり、口腔であるといつても過言ではない。



今だからこそ、未来への準備のために
多職種連携の実際を知ろう Season 3

座長 ふれあい歯科ごとう 新宿食支援研究会 代表 五島朋幸 先生 (歯科医師)

講師 医師、歯科医師、理学療法士(PT)、言語聴覚士(ST)、管理栄養士、看護師、介護福祉士、歌手、等

2021 5月20日～9月15日 全10回のLIVE配信

医科歯科連携 Academy



**骨粗鬆症予防のための
医科歯科連携**

講師 医療法人格優会 みやざき内科リウマチクリニック 院長 宮崎吉孝 先生 (医師)

大分ペリオデンタルオフィス 院長 岸本隆明 先生 (歯科医師)

2021 9月2日(木) 19:30～ LIVE配信

医科歯科連携 Academy



**睡眠時無呼吸症候群
医科歯科連携 の第一歩**

講師 順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科学講座・心血管睡眠呼吸医学講座 順天堂大学医学部附属順天堂医院 睡眠・呼吸障害センター准教授 葛西隆敏 先生 (医師)

アーカイブ配信中

メディア株式会社 IOCIL 運営事務局 support@iocil.jp [03-6891-7110](tel:03-6891-7110)